



E-Guardian

We Guard All

証券コード：6050

We Guard All

トップメッセージ | 高谷 康久

さらなる成長へ向け

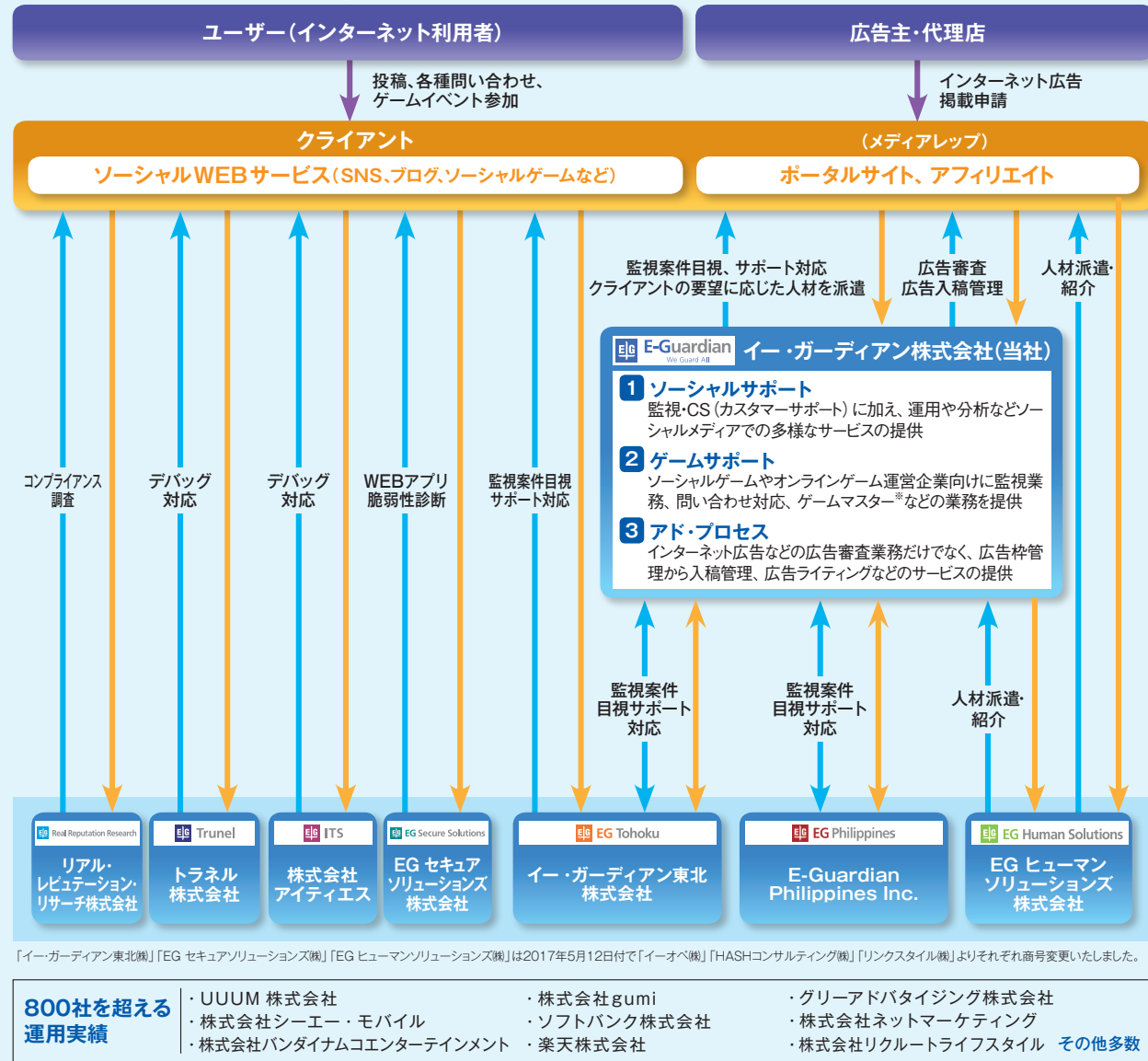
「サービスの量的拡大」

株主・投資家の皆様へ

E-G通信

第21期 第2四半期
2017年10月1日～2018年3月31日

誰もが安心・安全にインターネットを使える社会を目指します。



「イー・ガーディアン東北」 「EGセキュアソリューションズ」 「EGヒューマンソリューションズ」は2017年5月12日付で「イー・オーベ」 「HASHコンサルテイング」 「リンクスタイル」よりそれぞれ商号変更いたしました。

- 800社を超える運用実績**
- UUUM 株式会社
 - 株式会社シーイー・モバイル
 - 株式会社バンダイナムコエンターテインメント
 - 株式会社gumi
 - ソフトバンク株式会社
 - 楽天株式会社
 - グリーアドバタイジング株式会社
 - 株式会社ネットマーケティング
 - 株式会社リクルートライフスタイル **その他多数**

■ 連結子会社 ⇄ 対応内容に応じた料金の支払 ※オンラインゲーム上においてユーザーのパトロールや誘導を行うサポートスタッフ

インターネット関連市場の成長とグループシナジー効果の発揮により、引き続き増収増益を達成しました。

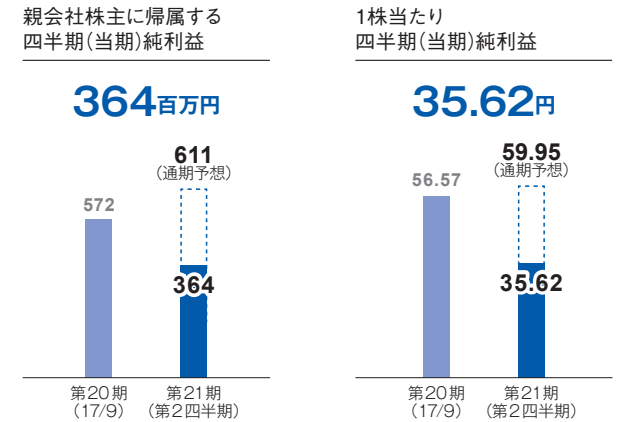
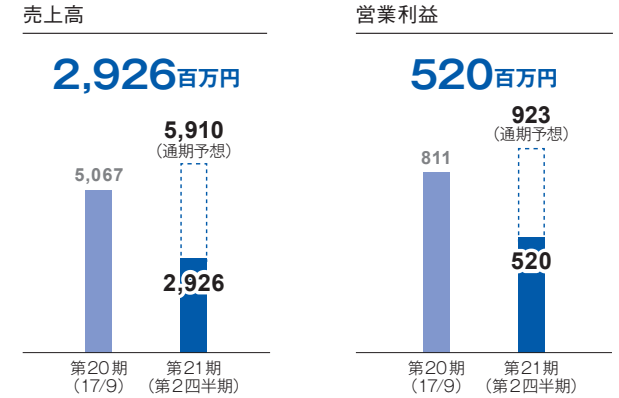
当社グループは、総合ネットセキュリティ企業を目指し、各分野でNo.1サービスの量産を目標に、事業拡大と収益性向上を追求してまいりました。

昨今、仮想通貨のセキュリティ問題や、個人情報の漏洩などに大きな注目が集まりました。AIやIoTの進捗とともに、今後ネット社会はますます大きな利便性を私たちにもたらしてくれるでしょうが、企業の営みも人々の暮らしも、それを守るネットセキュリティなしでは1日も立ちゆかなくなってきました。当社グループは「We Guard All」を企業理念とし、日本で他に類を見ない総合ネットセキュリティ企業として、ますます拡大する社会的ニーズと市場ニーズに応じてまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
高谷 康久

業績ハイライト



Point 新たなITサービスへの対応により業績が向上
フィンテック関連業務、及びゲーム関連の問い合わせ増加に伴い業績が向上しました。今後さらなるニーズの高まりが予想されるこれらのITサービスに特化した部隊を設置し、より専門性の高いサービスの提供を目指しております。

堅調な市場拡大を取り込み、人々の暮らしに欠かせない 総合ネットセキュリティ企業としての成長を目指します。

2018年9月期（第21期）上期の業績も 期初計画を上回りましたが。

期初計画を売上高で9%、営業利益で22%上回りました。インターネット市場全体が引き続き堅調に拡大しており、その市場拡大を万遍なく取り込めたことが、一番の原因だと考えています。特に、ここ数年間でM&Aなどを通じて、総合ネットセキュリティ企業として、ワンストップのサービスを提供できる体制を整えてきましたが、その成果が現われてきています。

ソーシャルサポート分野ではいかがでしたか。

仮想通貨が目玉されたことで口座を開く人が増え、その本人認証業務が増加しましたし、マッチングサイト関連も伸びが顕著でした。

また、最近では新しいEコマースの動きとして、ネットで商品をライブ発信しながら販売するというライブコマースが盛り上がっていますが、景品表示法に抵触していないかのチェック業務も増えています。さらに著作権の監視も引き続き旺盛な需要が生まれています。

特に、フィンテックに関連した本人認証は今後ともニーズが拡大すると見ており、これに対応するために今年3月に子会社のイー・ガーディアン東北（株）は郡山センターを新たに開設しました。郡山は競合するITサービス系の企業が少ないため、優れた人材確保が容易であ

るというメリットがあり、今後の展開に資するものと考えています。

ゲームサポート分野ではいかがでしたか。

昨年11月に、フィリピンに当社の海外独自拠点であるE-Guardian Philippines Inc.が本格稼働したことで、英語でのゲームサポート案件の受注が拡大しています。例えば、中国や韓国のゲームメーカーが、これまでは日本語でのサポートは当社に発注し、英語でのサポートは海外の企業に発注していたのが、当社に一本化するという流れも生まれてきています。E-Guardian Philippines Inc.は今期中に単月黒字を達成する見込みですし、まだ開拓されていない市場ですので今後の伸び代は大きく、アジアでの第二拠点の開設も検討を始めなければと考えています。

また、今期は新しいサービスとしてスマホゲームアプリの脆弱性診断をリリースしました。これによって、スマホゲームアプリに関しては、デバッグ、脆弱性診断、外国語対応がワンストップで対応可能となり、当社の競争優位となっています。

アドプロセス分野ではいかがですか。

政府の主導する働き方改革もあり、広告業界の深刻な人材不足は続いています。当社の場合は社内でアド

プロセス業務に携わることが、OJTによる派遣人材の育成に直結しているという強みがあります。その結果、広告スキルを有した人材派遣の依頼が、EGヒューマンソリューションズ（株）に集まっています。

また、昨年5月にロゴやキャラクター盗用など著作権侵害のパトロールを行う画像内物体検知システム「Kiducoo AI（キヅコウ エーアイ）」の提供を開始しましたが、東京オリンピックが近づくにつれて、各企業が自社のロゴや商品が画像の中でどのように使われているのかという関心を強めているため、受注が拡大しています。この傾向は、今後も継続していくと考えています。

サイバーセキュリティについてはいかがですか。

サイバーセキュリティ業界も、エンジニア不足が深刻です。加えて、そのエンジニアを育成するための指導者も不足しています。このため、EGセキュアソリューションズ（株）では、今期、新たなサービスとしてエンジニア教育事業をリリースしました。大手金融機関などのシステム全体のサイバーセキュリティは全体のシステム構築の中に含まれており、サイバーセキュリティだけを切り出して受注することは極めて困難ですが、人材育成部門は切り出せるという特質があるため、多くの企業からの受注が可能だと考えています。

今後の展望についてお聞かせください。

まず当面の課題は、当社が展開する各分野でのシェアを拡大していくことです。これまで当社はM&A等を通じてワンストップのサービス提供ができる体制を

構築し、シナジー効果が発揮できるようになってきました。今後はさらに各分野でのサービス提供の量的拡大を目指します。そのために一人の営業マンがグループ内のすべての商材を扱えるように知識やスキルを相当な程度にまで高め、真のシナジー効果を発揮できる体制づくりを進めます。

さらに中長期的には、総合ネットセキュリティ企業としての守備範囲を重層化していくことを目指しています。現在は横に守備範囲を広げた状態ですが、もう一つ深い層にまでサービスを拡大し、例えば24時間体制で不正侵入を防ぐような仕組みを構築することで、継続的な収益が得られるストック型ビジネスも内包していくことを展望しています。

今後も当面の成長性を維持しつつ、長期的展望を明確にして企業価値の最大化を追求してまいりますので、株主の皆様には変わらぬご支援をお願いいたします。

代表取締役社長
高谷 康久



1 E-Guardian Philippines Inc. を設立

2017年7月にフィリピン国首都マニラに子会社のE-Guardian Philippines Inc.を設立し、11月に本格稼働いたしました。

2016年4月にセコムグループの株式会社TMJと戦略的パートナーシップを締結し、フィリピンに多言語運用センターを構え、カスタマーサポートサービスの提供をいたしました。ソーシャルゲーム市場において、日本市場に参入する中国系、韓国系等海外ゲーム企業の多言語カスタマーサポートのニーズが増加しており、フィリピンにおけるサービス提供も順調に推移しております。

今後は海外へ進出する日系企業や日本へサービスを提供する外資系企業向けに投稿監視などのネットパトロー

ルや広告BPO、Webセキュリティ診断サービスやビットコイン取引所に関連するサービスのグローバル展開拠点として本格稼働してまいります。



2 郡山センターを新設

子会社のイー・ガーディアン東北株式会社は2018年3月、福島県郡山市に郡山センターを新設いたしました。

郡山センターでは、投稿監視等の従来より提供しているサービスに加え、今後さらなるニーズの高まりが予想されるフィンテックやソーシャルゲーム等の最新ITサービスに特化した部隊を設置し、より専門性の高いサービスの提供を目指しております。

また、IT系企業の進出が少なく豊富なIT人材の確保や育成が見込める郡山市に新たな雇用機会を創出することで、復興支援に寄与してまいります。



会社概要 (2018年3月31日現在)

商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998 (平成10) 年5月
資本金	36,428万円
従業員数	連結1,178名 (うち契約社員数919名)
本社	〒106-0045 東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F TEL: 03-5575-2561 FAX: 03-5575-0621

センター所在地	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東京センター 〒169-0074 東京都新宿区北新宿2-21-1 新宿フロントタワー 28F TEL: 03-6770-2192 FAX: 03-6770-2193 ■ 立川センター 〒190-0012 東京都立川市曙町 2-34-7 ファーレイーストビル 6F TEL: 042-847-3300 FAX: 042-847-3301 ■ 大阪センター 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島 1-5-17 堂島グランドビル 7F TEL: 06-6346-6080 FAX: 06-6346-6180 ■ 宮崎センター 〒880-0805 宮崎県宮崎市橘通東 4-1-2 宮崎野村證券ビル 7F TEL: 0985-42-7900 FAX: 0985-42-7901 ■ 熊本センター 〒860-0863 熊本県熊本市中央区坪井 2-2-35 熊電プラザビル1F TEL: 096-341-2525 FAX: 096-341-2526
---------	---

関連会社	<ul style="list-style-type: none"> ■ イー・ガーディアン東北株式会社 ■ EG セキュアソリューションズ株式会社 ■ トラネル株式会社 ■ EG ヒューマンソリューションズ株式会社 ■ リアル・レピュテーション・リサーチ株式会社 ■ 株式会社アイティエス ■ E-Guardian Philippines Inc.
------	--

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング ■ リアルタイム投稿監視業務 ■ ユーザーサポート業務 ■ オンラインゲームカスタマーサポート業務 ■ コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務 ■ コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務 ■ 人材派遣業務 ■ デバッグ業務 ■ サイバーセキュリティ関連業務
------	--

株式情報 (2018年3月31日現在)

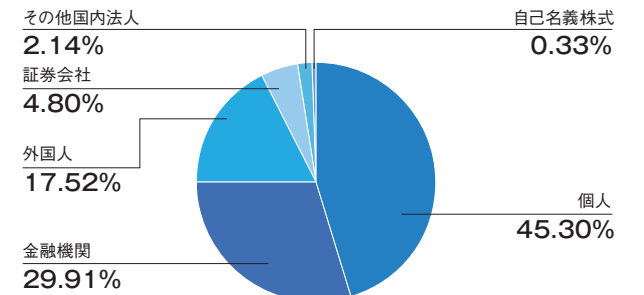
株式の状況	
発行可能株式総数	32,400,000株
発行済株式の総数 [うち自己株式 33,882株]	10,405,800株
株主数	7,130名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	796,600	7.66
高谷 康久	791,752	7.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	432,600	4.16
チェースマンハッタンバンクジーティーエスクライアントアカウントエスクロウ	420,111	4.04
五味 大輔	400,000	3.84
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	331,500	3.19
シービーロンドンスコティッシュエイクイタブル ジャパンエクセムプトスコティッシュエイクイタブルビーエルシー	323,600	3.11
バンクオブニューヨークジーシーエムクライアントアカウントジエイビーアールデイアイエスジーエフイーーエイシー	279,000	2.68
資産管理サービス信託銀行株式会社 (証券投資信託口)	244,400	2.35
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	185,200	1.78

(注) 1. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
2. 持株比率は小数点第2位未満を四捨五入して表示しております。
3. 自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(146,701株)は含まれておりません。

所有者別株式数の分布状況



コラム Column

新しいプロスポーツビジネス「eスポーツ (e-sports)」

「eスポーツ (e-sports)」とは、「エレクトロニック・スポーツ」の略であり、選手たちはコンピューターゲームによる熱い対戦を披露し、勝者は賞金を獲得する。世界規模の大会では何万人ものファンがスタジアムを埋め尽くし、インターネットを通じて世界中で試合の様様を視聴することもできる。eスポーツは世界中の選手と観客を繋ぐ、新しいプロスポーツビジネスとして市場が拡大している。

ゲーム業界での豊富な実績を持つ当社は、選抜社員で構成するeスポーツチーム「e-Guardians (イーガーディアンズ)」を結成。選抜社員は専用の練習場「Guardians-Labo (ガーディアンズ-ラボ)」で練習を積み、eスポーツ公式大会本選出場を目指す。eスポーツの普及活動に寄与するとともに、ミッションである「We Guard All」の実現に向け、人々の生活をより便利に、豊かにするサービスの開発に尽力していく。



ホームページのご紹介

ホームページでも様々な情報をご覧いただけます。

トップページ

<https://www.e-guardian.co.jp/>



株主・投資家情報

<https://www.e-guardian.co.jp/ir/>



株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載 URL

<http://www.pronexus.co.jp/koukoku/6050/6050.html>



イー・ガーディアン株式会社
<https://www.e-guardian.co.jp/>

〒106-0045
東京都港区麻布十番 1-2-3 プラスアストルビル 4F
TEL:03-6685-2564 FAX:03-5575-0621